

# 保健・医療・福祉の現状

令和 8 年 4 月

秋田県健康福祉部

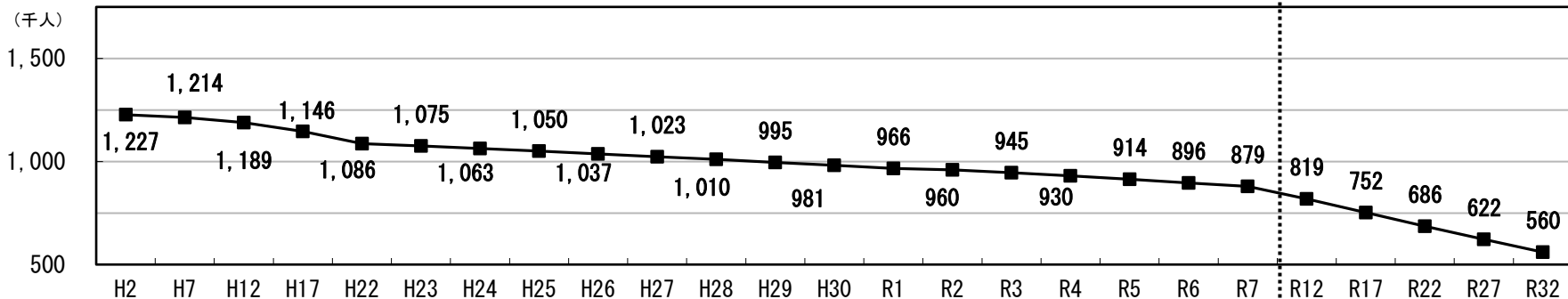
# — 目 次 —

1.	人口	• • • • •	1
2.	生活保護	• • • • •	2
3.	高齢者	• • • • •	3
4.	障害者	• • • • •	5
5.	健康	• • • • •	7
6.	医療	• • • • •	11

# 1. 人口

## ≪ 県人口 ≫

● 人口は令和32（2050）年には60万人を割る見込み。

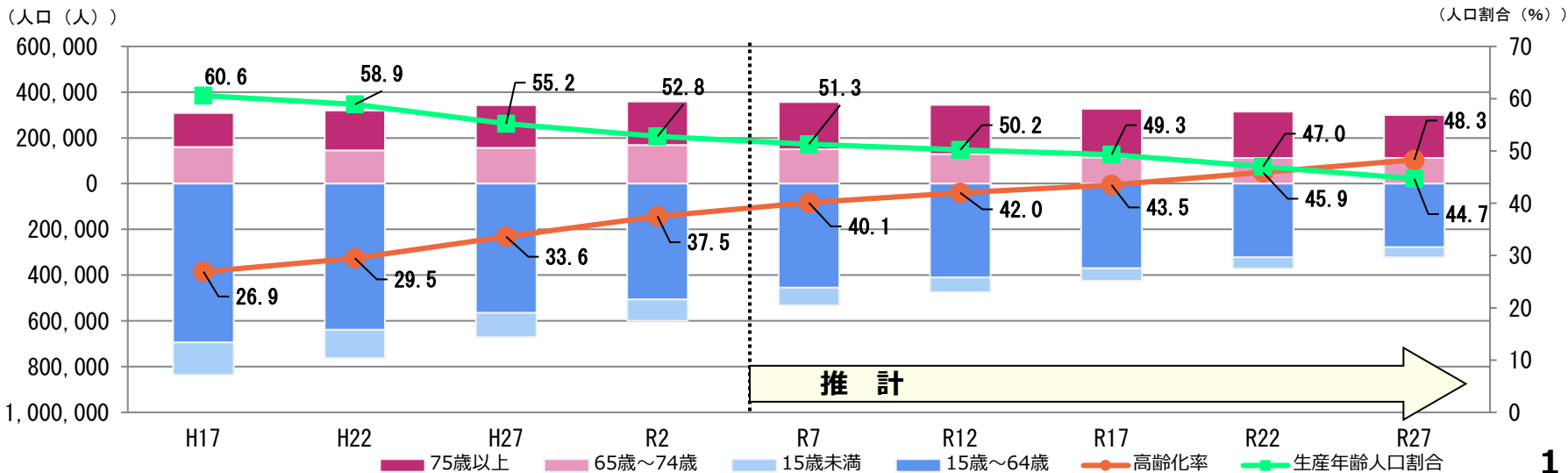


資料) 国勢調査、秋田県年齢別人口流動調査、R8以降は社会保障・人口問題研究所による推計 (R6公表)

推計

## ≪ 年齢区分別人口 ≫

● 令和27（2045）年には高齢者人口が生産年齢人口を上回る見込み。

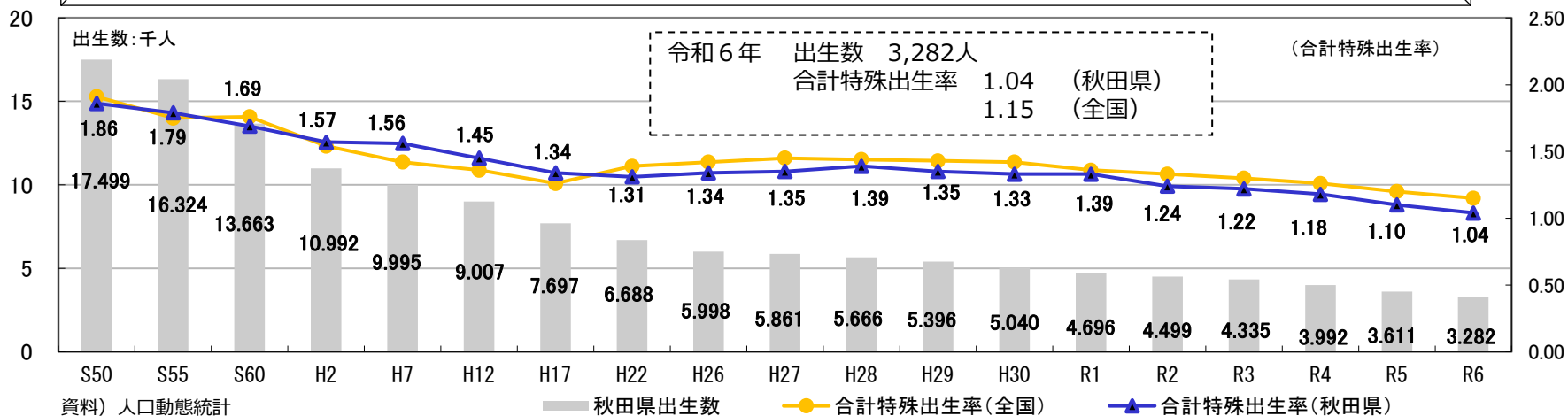


推計

資料) 国勢調査、秋田県年齢別人口流動調査、R7以降は社会保障・人口問題研究所

## ◀ 出生数・合計特殊出生率 ▶

- 出生数は、平成7年に1万人を割った後も減少を続け、令和6年には3282人まで減少。
- 合計特殊出生率は、全国平均を下回っている。（全国順位：44位）

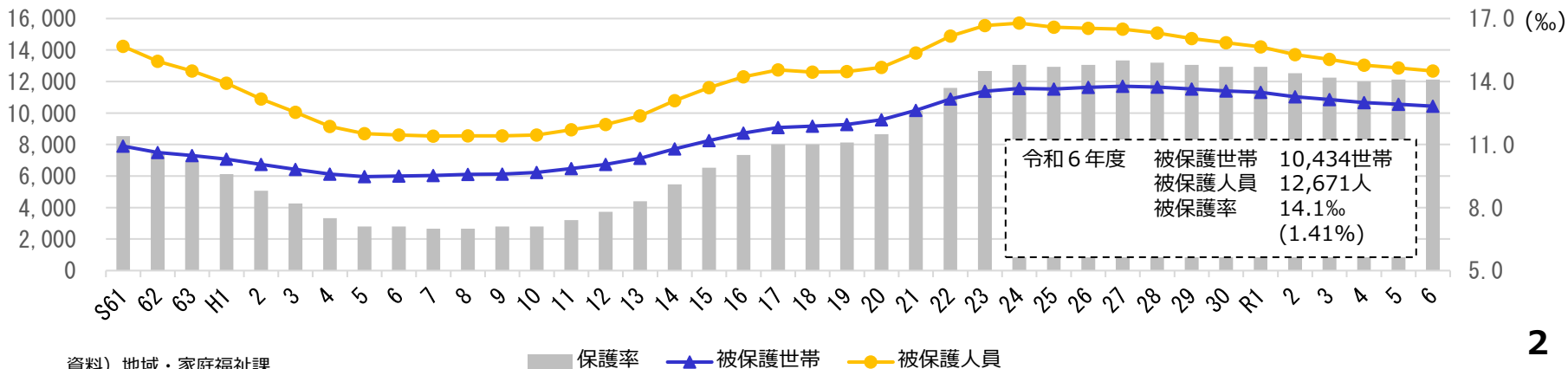


## 2. 生活保護

### ◀ 被保護率、被保護人員・世帯 ▶

- 被保護人員・総保護世帯数は減少傾向にあり、被保護率は近年横ばい状態にある。

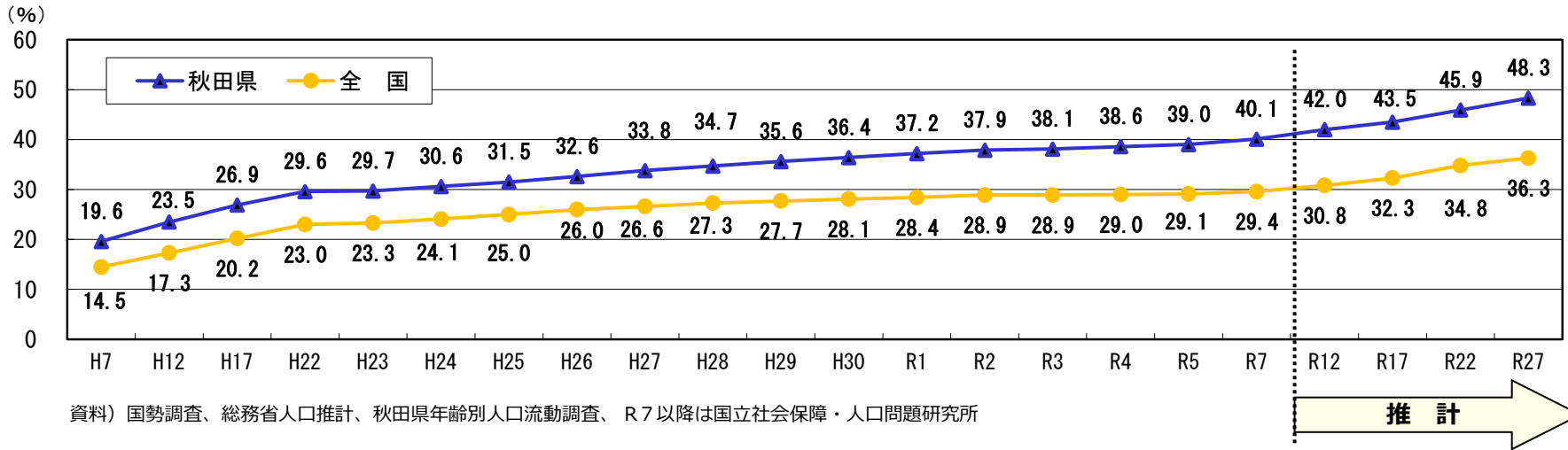
(人・世帯)



# 3. 高齢者

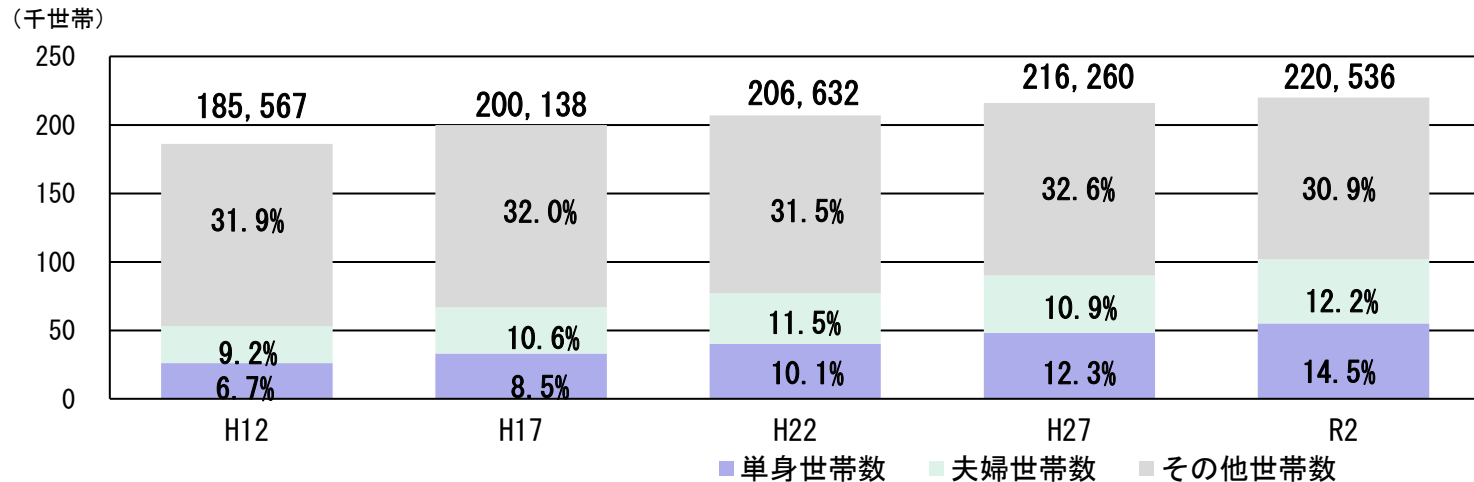
## ◀ 高齢化率 ▶

● 高齢化率は上昇を続け、令和22（2040）年には45%を超える見込み。



## ◀ 高齢者のいる世帯数 ▶

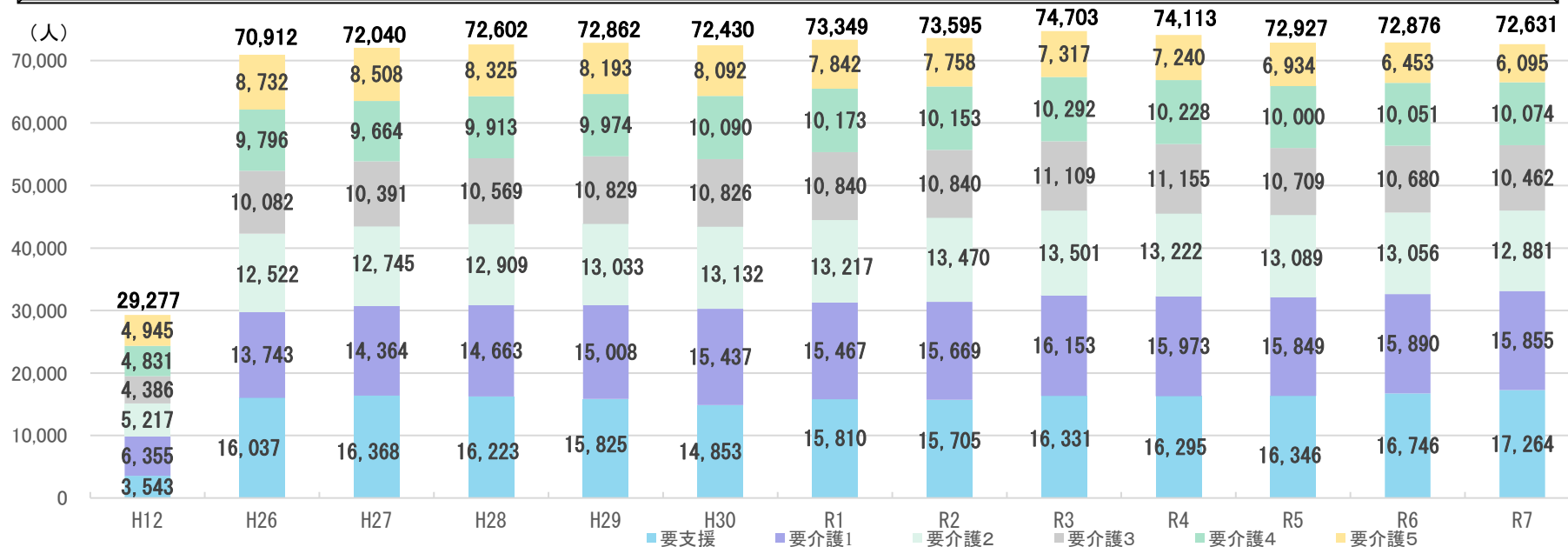
● 高齢者のいる世帯数は年々増加している。



注) 「単身世帯」は高齢者のひとり暮らし世帯、「夫婦世帯」は夫婦ともに65歳以上の世帯。割合は総世帯数に占める割合。(資料) 国勢調査

# ◀ 要支援・要介護認定者数 ▶

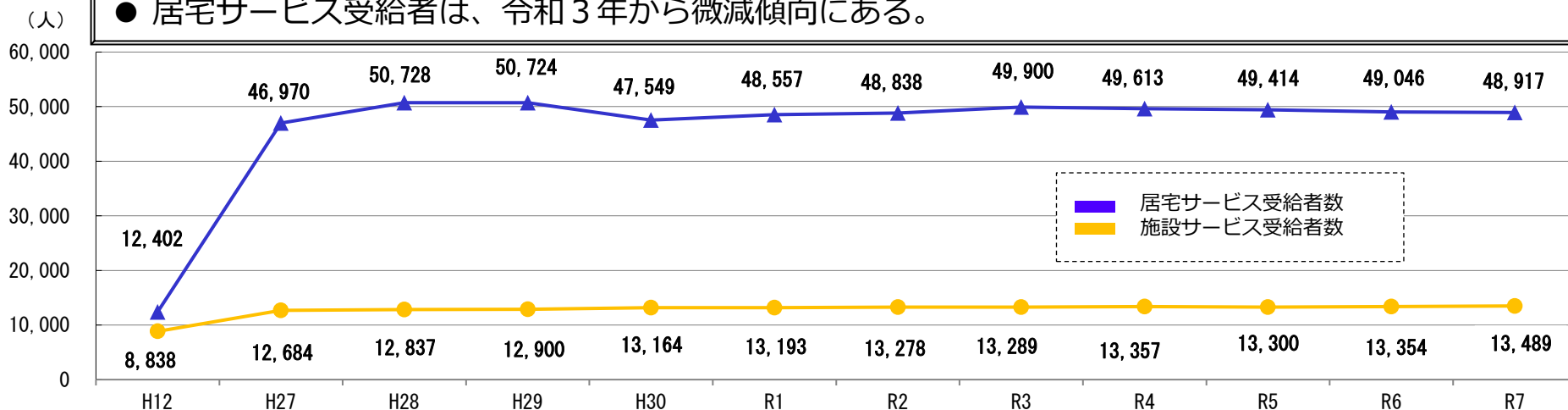
● 要支援・要介護認定者は、令和3年をピークに少しずつ減少している。



(注) 第1号被保険者と第2号被保険者の合計 (資料) 介護保険事業状況報告(各年4月現在)

# ◀ サービス別利用者数 ▶

● 居宅サービス受給者は、令和3年から微減傾向にある。

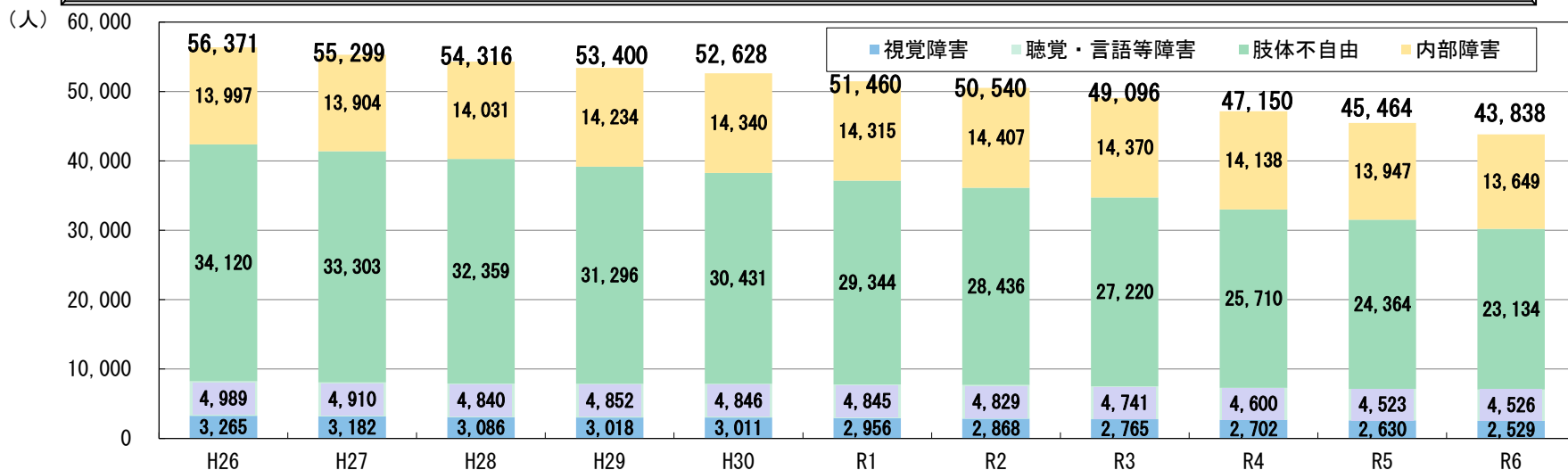


注) 居宅サービス受給者：居宅介護（介護予防）サービス受給者数と地域密着型（介護予防）サービス受給者数の合計  
 資料) 介護保険事業状況報告(各年4月現在) ただし、地域密着型介護老人福祉サービスを除いて計上

# 4. 障害者

## ◀ 身体障害者数（障害別） ▶

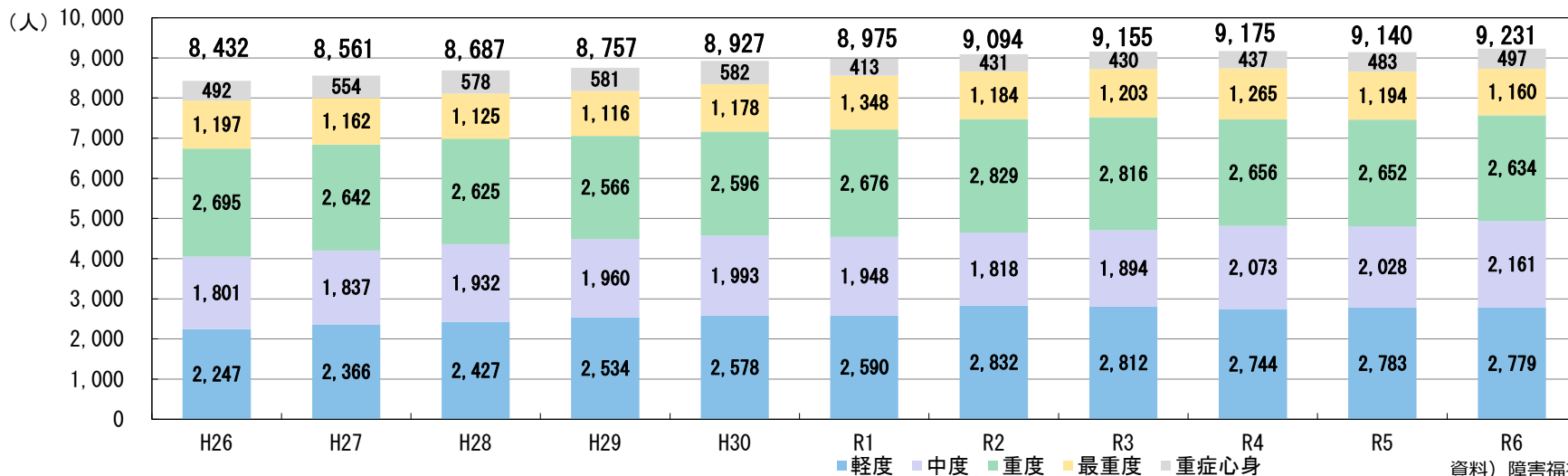
● 肢体不自由が最も多く、半数以上を占めている。



資料) 障害福祉課

## ◀ 知的障害者数 ▶

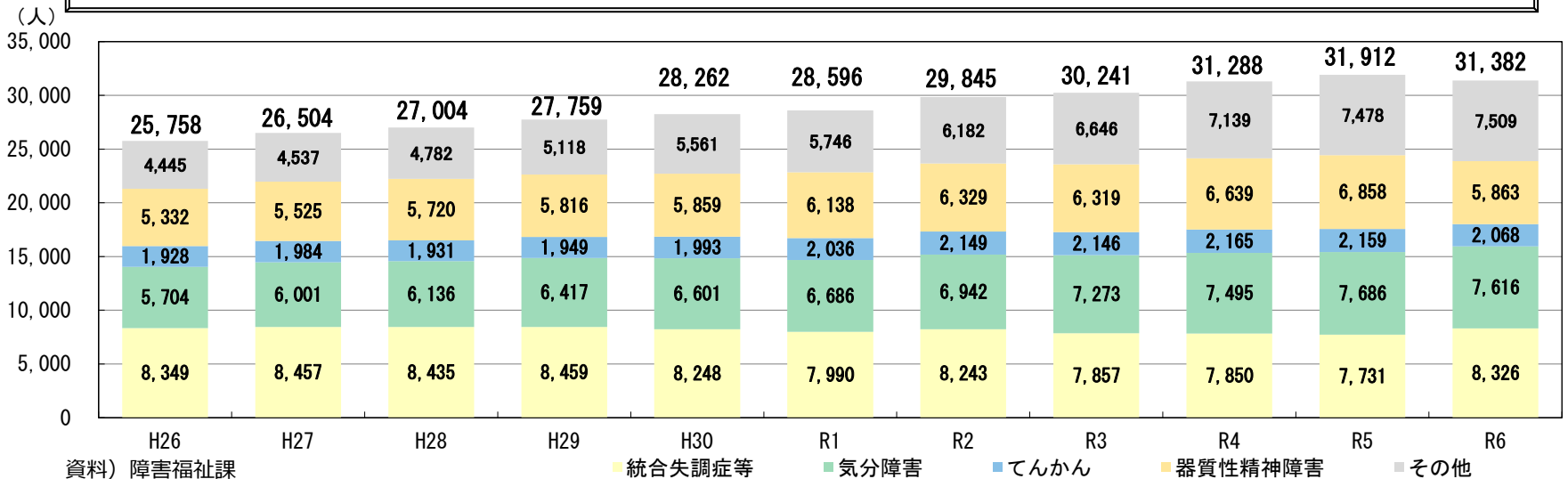
● 全体の半数程度が重度以上の障害を有している。



資料) 障害福祉課

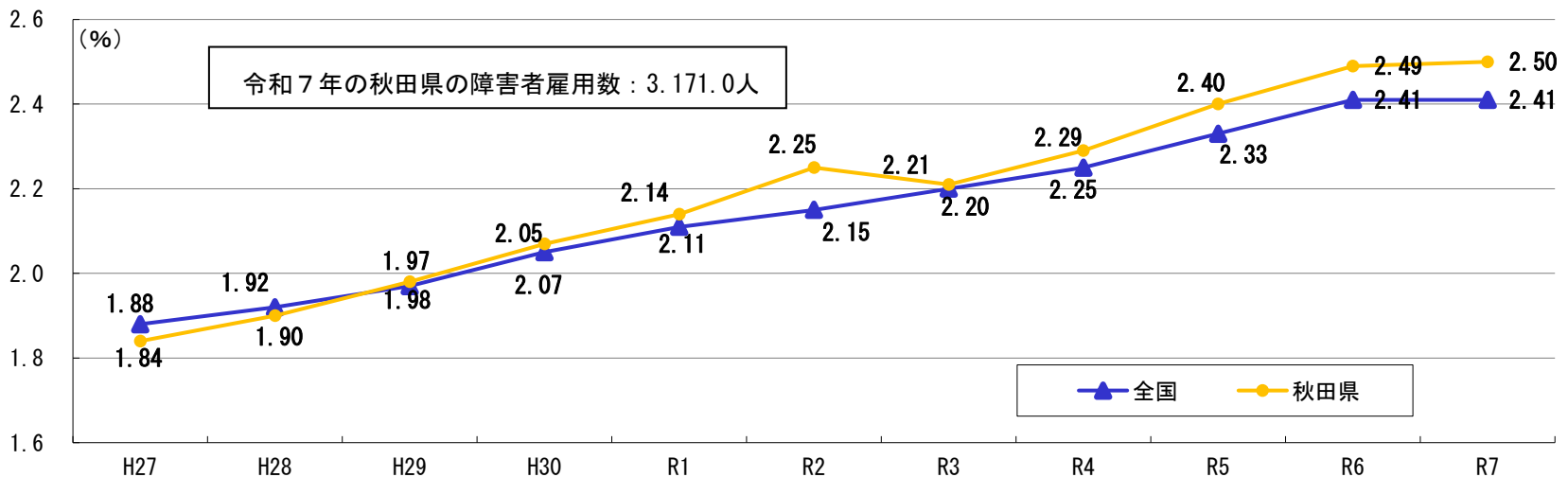
## 精神障害者数

● 精神障害者は、気分障害（うつ病等）などを中心に増加傾向にある。



## 障害者の雇用率

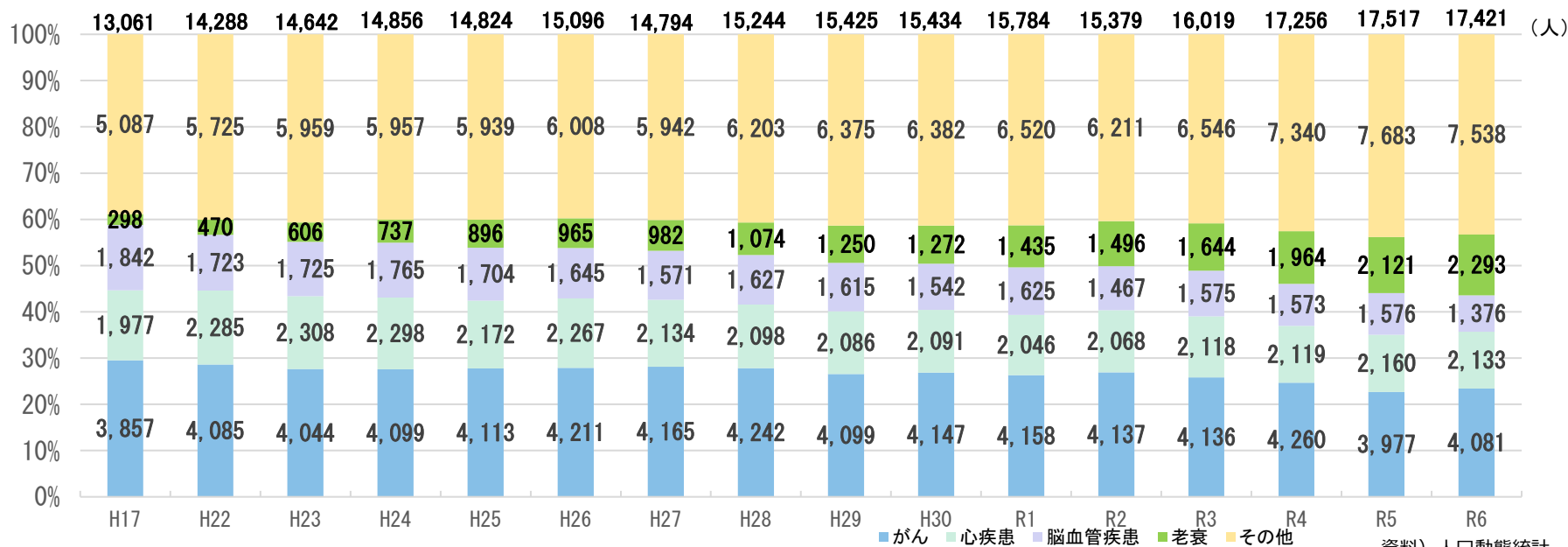
● 雇用率は過去最高を更新し、全国よりも高い水準となっている。



# 5. 健康

## ≪ 死因別の死亡数 ≫

● 三大疾病による死亡数が全体の半数近くを占めている。



## ≪ 令和6年三大疾病の状況 ≫

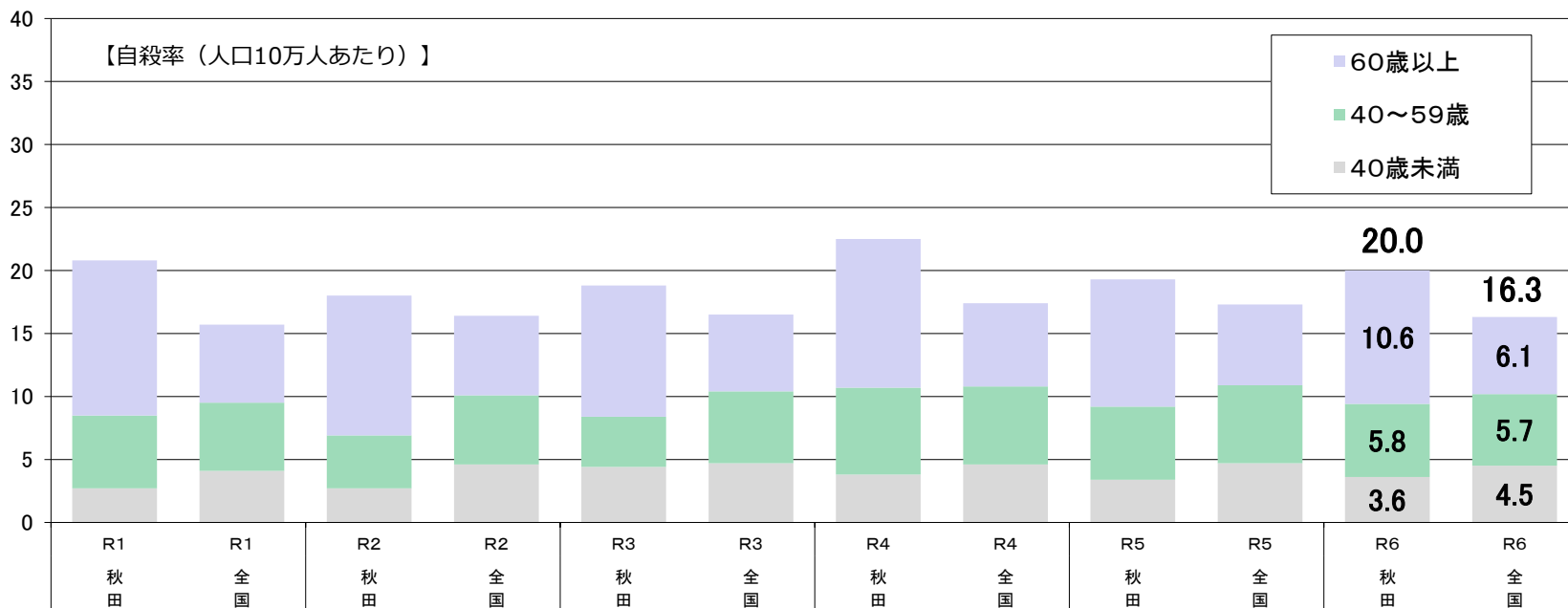
● がん及び脳血管疾患の死亡率が全国上位となっている。

区分	が ん	脳血管疾患	心疾患
秋田県の状況	458.0 (1位)	154.4 (2位)	239.4 (11位)
全国平均	319.3	85.5	188.2
全国の状況 (高率県)	①秋 田 (458.0) ②青 森 (437.4) ③北海道 (408.8)	①岩 手 (159.8) ②秋 田 (154.4) ③新 潟 (127.6)	①愛 媛 (279.0) ②山 口 (274.2) ③和歌山 (270.4)

(率・人口10万人対)  
資料) 人口動態統計

# ≪ 自殺率 ≫

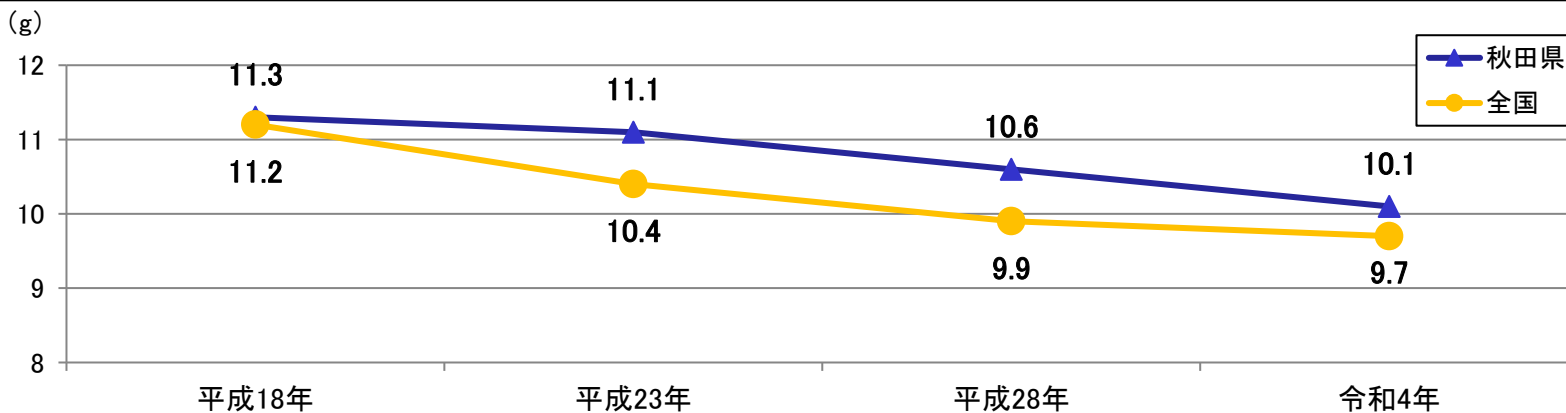
● 全国と比べると、依然として高い水準で推移している。



資料) 人口動態統計

# ≪ 食塩摂取量の状況 ≫

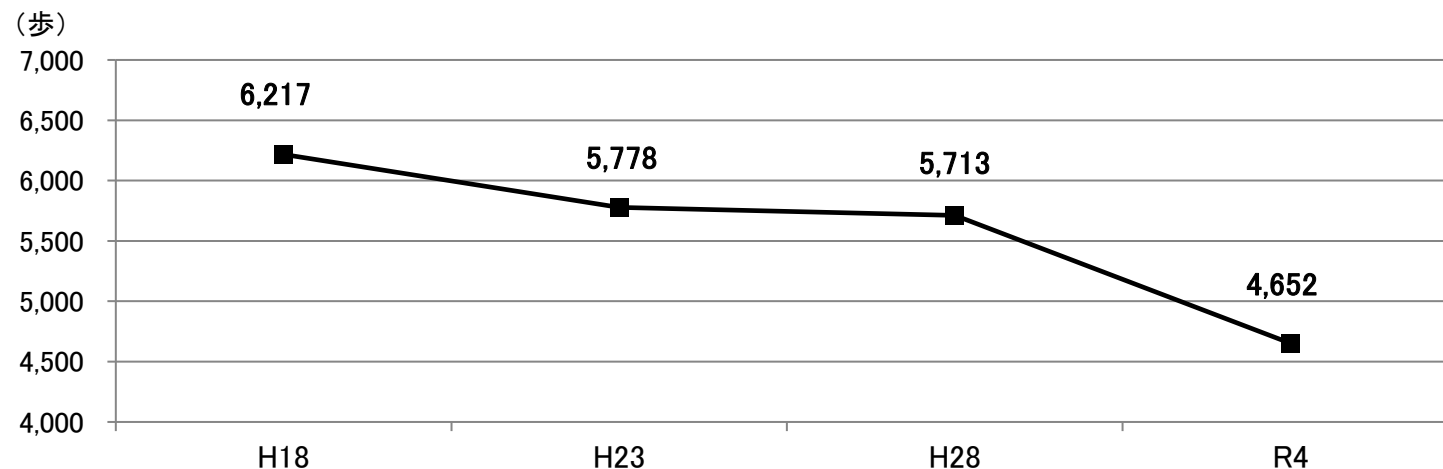
● 減少傾向にあり、全国平均との差は縮まってきている。



資料) 国民健康・栄養調査、県民健康・栄養調査

## ≪ 1日あたり歩数 ≫

● 減少傾向にあり、特に令和4年において大きく減少している。

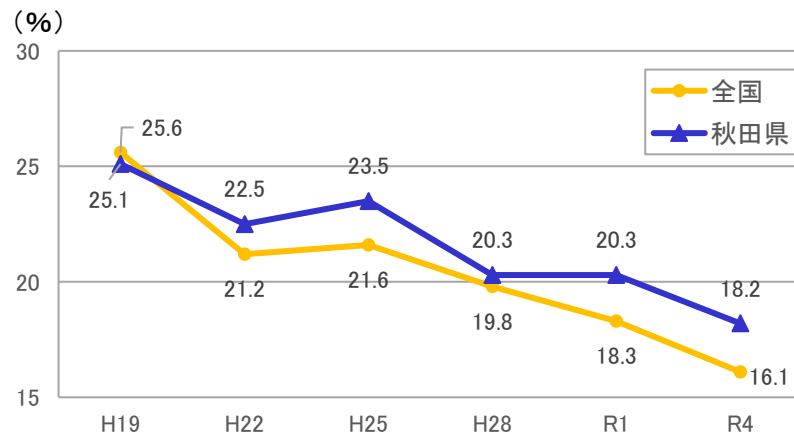


資料) 県民健康・栄養調査

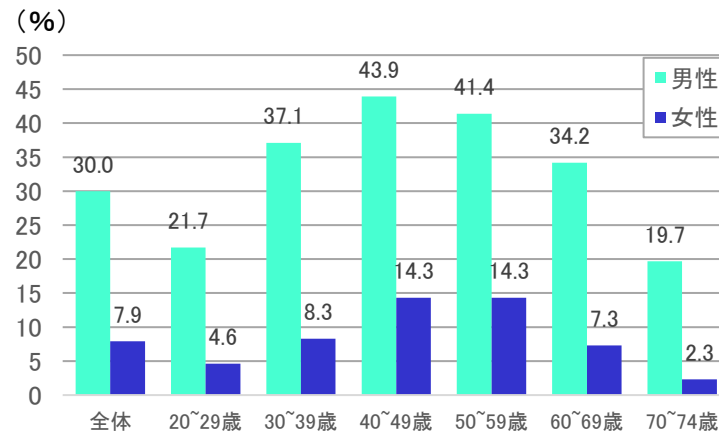
## ≪ 喫煙率 ≫

● 全国平均を上回っており、男女別・年代別では30~50歳代の男性の喫煙率が特に高い。

【推移】



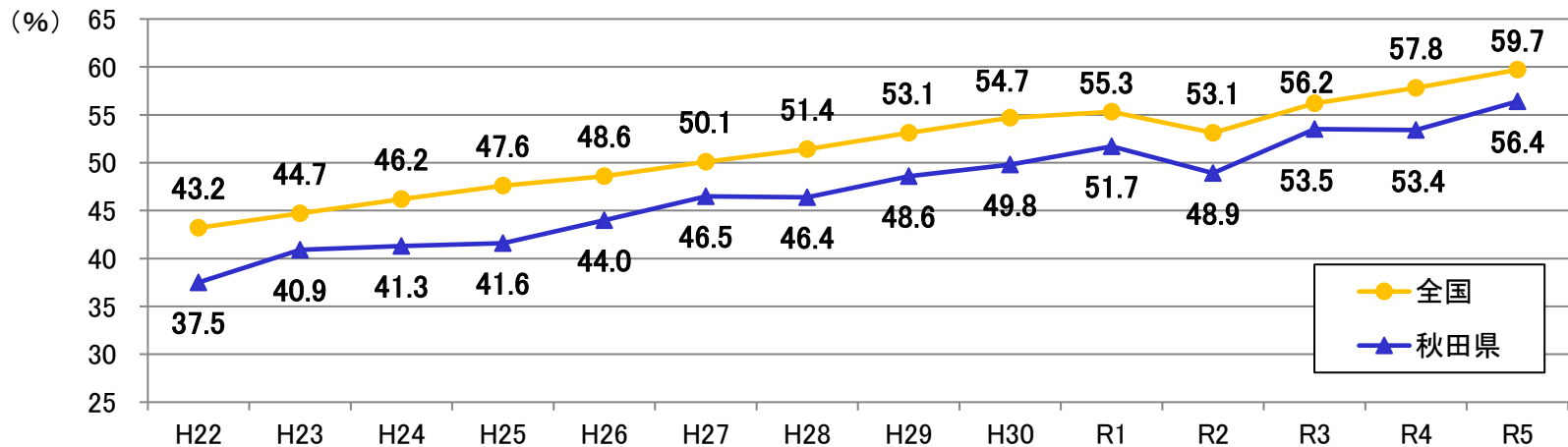
【男女別・年代別】



資料) 国民生活基礎調査

## 「特定健診受診率」

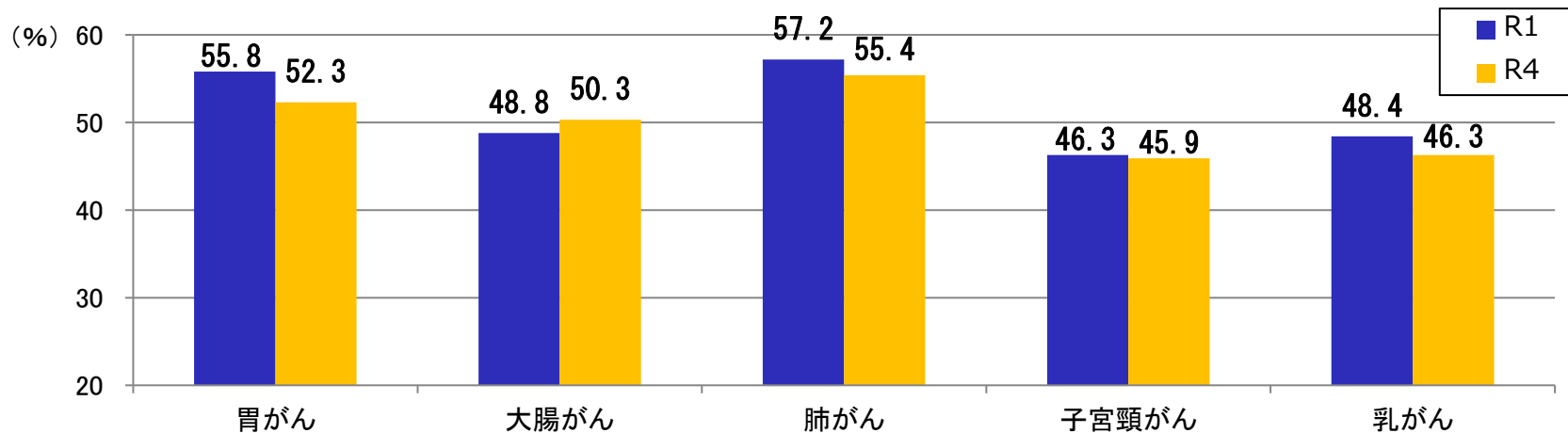
● 全国平均を下回っている。



資料) 特定健康診査・特定保健指導の実施状況

## 「がん検診受診率」

● 多くの部位で減少傾向にある。



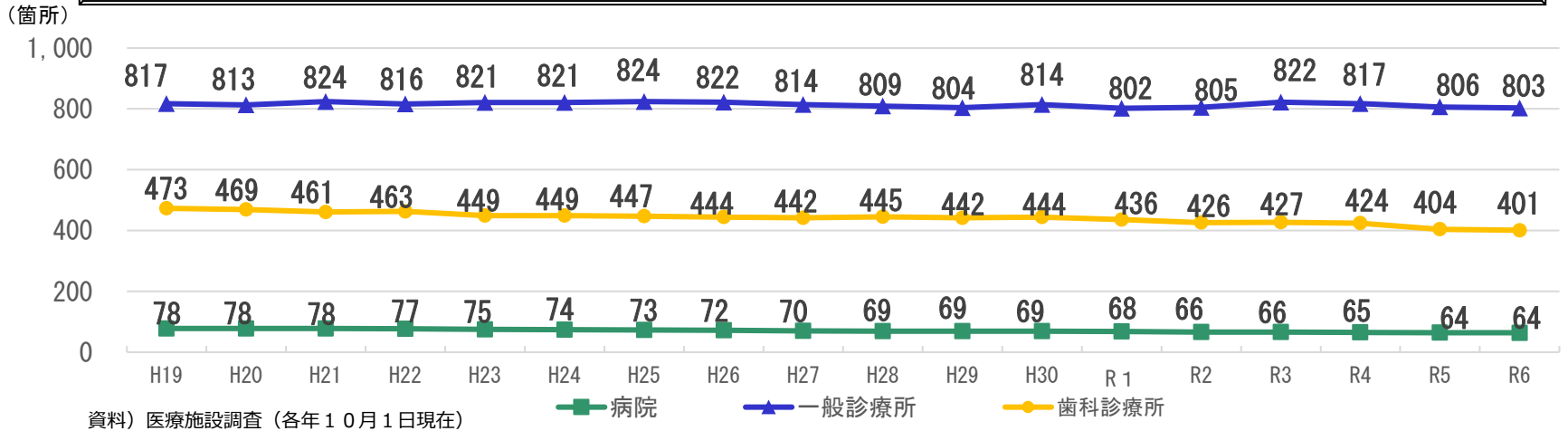
資料) 国民生活基礎調査

※受診率の算定対象年齢は、「がん対策推進基本計画」及び「がん予防重点教育及びがん検診実施のための指針」に基づき、40～69歳（胃がん検診は50～69歳、子宮頸がんは20～69歳）としている。

# 6. 医 療

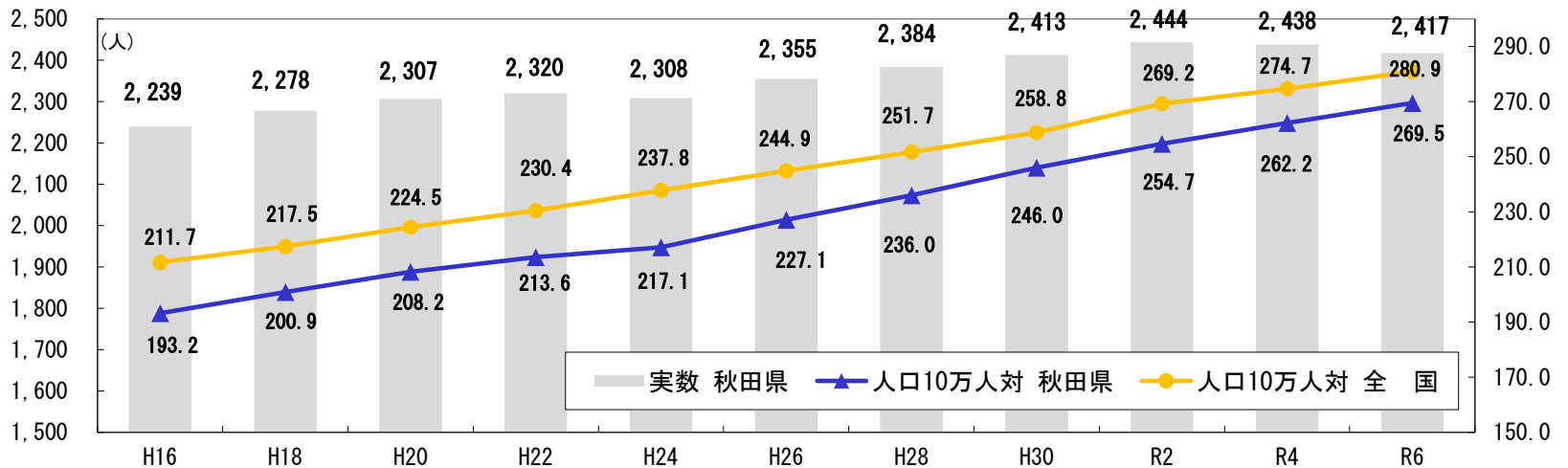
## ◀ 医療施設数 ▶

● 診療所数は横ばい、病院、歯科診療所数は緩やかな減少傾向にある。



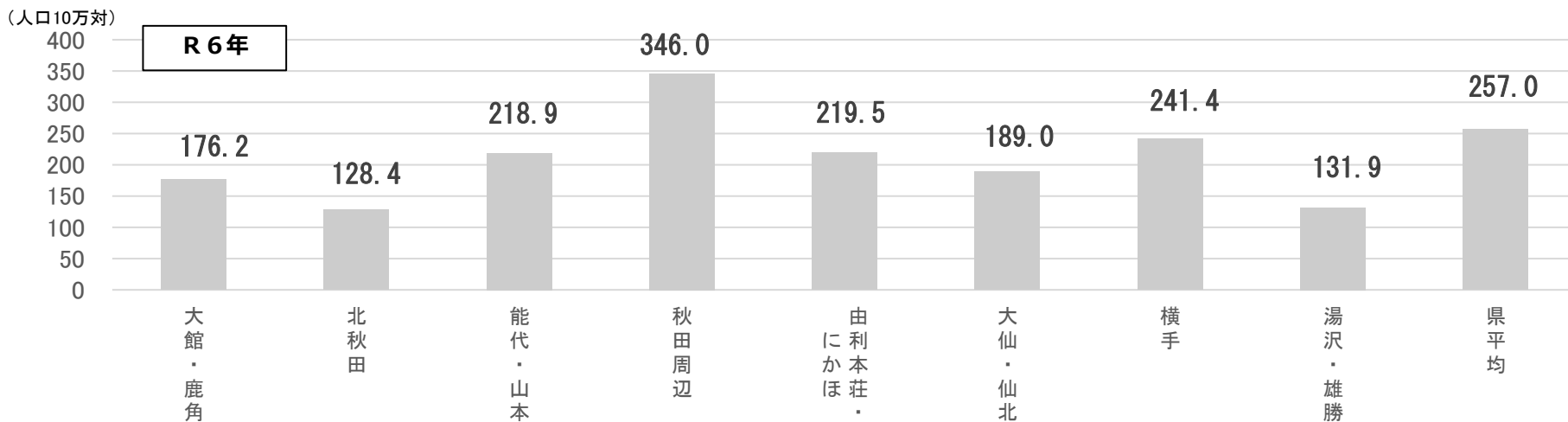
## ◀ 医師数 ▶

● 医師数は増加傾向にあったが、令和4年に減少に転じ、全国平均を下回っている。



## 「地域別（旧二次医療圏別）医療施設従事医師数」

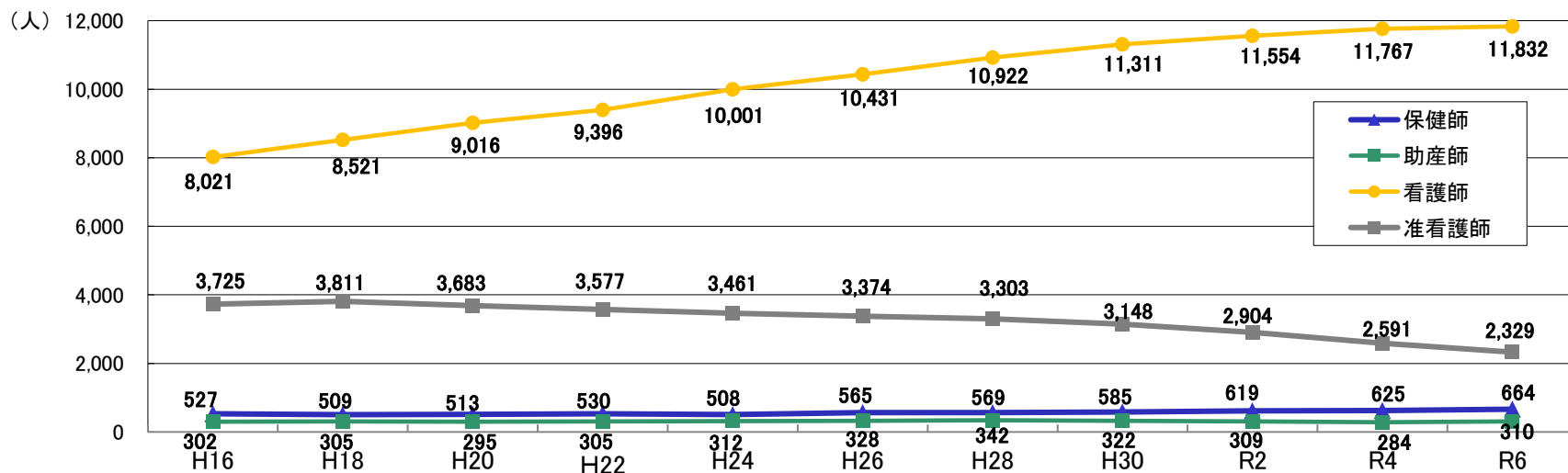
● 秋田周辺地域が最も多く、地域偏在が顕著になっている。



資料) 医師・歯科医師・薬剤師統計(隔年12月末現在)

## 「医療従事者数」

● 看護師数は増加傾向にあるが、看護職員全体では令和4年に減少に転じた。



資料) 衛生行政報告例